

# 市政を問う

## 一般質問

### 一般質問とは

議員が、市の行政全般にわたり、執行状況や将来の方針などを質問したり、政策提言を行うもので、定例会のみ行われます。質問時間は、答弁時間を含め、議員1名につき90分以内で、時間内であれば何回でも質問できます。



久米原 孝子 議員

### 空家対策室と空家バンクについて

**議員** 今年度から生活安全課に空家対策室を設置し、空家バンクの担当も同じ課になり、業務の上でどのように変わったのか。また、管理不適正空き家への取り組み状況や直近の実績を伺います。

**市民生活部長** 今年度から生活安全課内に空家対策室を設置し窓口を一本化したことで、空き家の適正管理に係る助言、指導を行う際に空き家の状態や所有者の実情に応じた、空家バンク制度の周知、説明を行い、空家バンクへの物件登録を促すことが可能となり効率的に業務を行っています。

実績は11月現在で改善要請を行っている物件が98件、そのうち何らかの改善が図られたものが83件、改善率で85%と昨年度の65%から大きくアップしている状況です。

なる取り組みについて、働き方、暮らし方が大きく変化を受け、空家バンクの登録数を増やし移住を進める大きなチャンスです。空家バンク登録時に、様々な補助事業を行っている市町村もあります。当市の助成制度の考えや、今後の周知活動について伺います。

**市民生活部長** 令和3年4月1日より、空き家に残された家財の処分費用の補助と、空き家の改修工事費用の補助制度を施行する予定です。また、税務課が送付する固定資産税の納税通知書に同封するチラシにも、この補助制度について掲載する予定です。

**掲載以外の質問項目**  
◆コミュニティバスの利便性と安心安全な運行について  
◆コロナ禍における健康管理について

山宮 留美子 議員

### インクルーシブ公園について

**議員** 障がいのある無しに関わらず、みんな一緒に遊べる公園の事をインクルーシブ公園と言います。車椅子に乗ったまま遊べる砂場や遊具、親子で横に並んで滑れる滑り台、背もたれがしっかりついた固定型の箱型ブランコ等、誰もが楽しく一緒に遊べる公園は、アメリカやオーストラリアでは一般的ですが、日本では、世田谷の砧公園、府中市の府中森の公園、池袋のとしまキッズパークの3箇所しかありません。

**市長** この質問を受けて、インクルーシブ公園について勉強を深めることが出来ました。インクルーシブ遊具については非常に価格が高額であるという点がありますが、市内の大きな公園で設置をする等の手法で、インクルーシブの視点を導入していく事は可能かと思われ、更なる調査研究をし、前向きに考えていきたいと思えます。



▲誰もが楽しく遊べるインクルーシブ公園

先日、豊島区にある「としまキッズパーク」を視察して来ました。大変素晴らしいものでした。大人の私でもワクワクする公園でした。是非このような公園を龍ヶ崎市にも作って頂きたいと思えます。市長の見解をお聞かせください。

**掲載以外の質問項目**  
◆コロナ禍における市民生活の様々な影響と市の対応について  
◆住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化について

札野章俊 議員

## コロナ禍における

### 飲食業の支援について

議員 国や県のGo To Eat事業について、市内登録店舗数からして、当市は乗り遅れたと言えます。今後、如何にして飲食業を支えていくのかお伺いします。

産業経済部長 感染症拡大防止協力金や支援金等の支給のほか、「プレミアム付商品券事業」を実施し、飲食業者の支援策として、「龍ヶ崎でテイクアウト」や「出前&テ

イクアウトサービス店リスト」により、市内飲食店情報を積極的に発信しています。

議員 コロナ禍の数年間を見据えた施策が必要なのか、何を求めているのか、何を求めているのか、アンテナを張っていただきたい。そして、行政で何をどうすれば、市民のために役に立てるのかを考えていただきたい。

### 移住者促進の施策について

議員 コロナ禍において、今後の移住者促進の施策をどのように考えているのかお伺いします。

市長公室長 テレワークという働き方に焦点を絞った移住促進の取り組みを検討しています。具体的には、市内の宿泊施設等を活用し、一定期間、市内に滞在しながらテレ

ワークによる業務を行う「テレワークツアア」の開催を検討するほか、現在、サブプラ2階への整備に向けて検討を進めている図書館スペースをテレワークスペースとしても活用を図り、テレワークに取り組み利用者を支援してまいりたいと考えています。

伊藤悦子 議員

## 新型コロナウイルス感染

### 第3波への対策強化を求める

議員 12月8日現在市民への感染は48人と増加、感染防止にはPCR検査数を拡大し、保護、追跡が急務です。それには検査数を増やすことです。いかがですか。

健康づくり推進部長 地域外来検査センターの実績は、11月末で72名を検査し陽性者は3名。検査は、平均1.8人/日で、

### 「道の駅」建設中止を求める

議員 私は、牛久沼護岸工事の中止は、設計に問題があり損害賠償請求をすべきと議会で取り上げてきました。今議会で提出されたその和解案は、市が護岸工事費用878万円の4割と、牛久沼調査費用を負担します。その根拠は何ですか。また、実施設計918万円の取り決めと修正設計料はどうなりますか。

市長公室長 護岸改修設計は、最終的に検査、受領しており、発注者として一定の責任があるため4割の負担となった。調査費は、地質状況のより詳細な把握と、設計見直しの上で市が基礎データとするため、市が負担することで合意しました。

議員 仕事を中止にしないための合意と思います。道の駅の建設は、中止にすべきです。

石引礼穂 議員

### 「道の駅」・・・その前に!!

議員 令和2年2月に、「道の駅」については仕切り直す」という話がありましたが、同年11月の政策情報誌には設計・基本構想とも何も見直されていない道の駅の施設概要がイラスト入りで掲載されていた。牛久沼をどのようにしていくのか、具体的な施策がない状態で、以前作成したものを掲載されたら、道の駅ありきで物事が進んでいるようにしか見えませんか、そう思っています。市民も多いと思います。優先順位がおかしいです。一番先にすべきは「牛久沼トレイル」の着手です。龍ヶ崎市国土強靱化計画の中で、防災という観点から牛久沼の土手を堤防として役割をもたせれば、国の協力のもと牛久沼を一周できる遊歩道がつけられます。計画期間内に策定しなければ、また何もできないまま終わってしま

ます。このチャンスを活かすためにも、まず牛久沼トレイルの実現に向けて行動し、形にしてい。それからです。道の駅の話は、牛久沼トレイルの拠点となる道の駅というあり方を明確にし、どのような道の駅であれば、みなさんに長く愛される施設になるかを考えていくべきです。平成29年2月に策定した道の駅基本計画を見直すつもりはありますか。

市長 基本計画については、たたき台的な位置づけであると考えております。基本計画ありきではなく、見直すべきところは見直します。

議員 牛久沼トレイルとカフェがメインの道の駅。この二つがそろえば、両サイドにある未利用地の活用を当市で考え、民間にオフアアすることもできます。市民が自慢できる牛久沼をつくりましょう。

大野みどり議員

## SDGsの取り組みについて

**議員** 本市のSDGsの取り組み、そして次期最上位計画にSDGsの視点を踏まえた取り組みはあるのかお伺いします。

**市長公室長** 本市の行政活動そのものが、SDGs推進につながるものと基本認識を持ち、施策事業の推進に努めており、今月には職員向けの研修会を開催する予定です。次期最上位計画には、SDGsの「誰一人取り残さない」という基本理念や

17の目標とのつながりを意識しながら、計画に位置づけていく考えです。**議員** SDGsを市民の皆様にとのよう浸透させていくのかお伺いします。

**市長** 政策情報誌へのSDGs特集記事の掲載等を予定しています。今後、SDGsの考え方を市民の皆さんと共有できるように、私もPRに積極的に努めてまいりたいと思います。

## 道路や公園の不具合に対する

### 住民からの通報システムについて

**議員** 現状写真の確認や場所特定を素早く把握できるLINE通報システムの導入を、当市でも検討してはどうか。

事例の情報を収集し調査研究してまいります。



▲状況を素早く把握できるLINE通報システムの導入を

### 掲載以外の質問項目

**市長公室長** 来庁の必要がなく、通報内容が早く正確に確認できるなどのメリットがあります。運用面や経費など、先進

◆聴覚障がい者の意思疎通支援について

金剛寺 博議員

## 新型コロナ対策独自事業は

### 交付金の全額活用を求める

**議員** 臨時交付金を活用した独自事業で、予算残となる事業は、組み換えをして、一般財源繰入も含め、全てコロナ対策に使い切るよう求めます。

**総務部長** 交付限度額については、全て充当できないようにしたい。一般財源については、今後の収支状況を注視し財政運営に適切に対応していく。

## 新たな中小企業・個人事業者への

### 支援を求める

**議員** 新たな感染が広がる中で、衛生管理は長期となり、また国の事業化給付金を受けた事業者でも、電気、上下水、リ

ます。**産業経済部長** 衛生管理に用途を限定する補助については、その必要性を見極め検討します。固定費の支援については、今後の感染状況、地域経済の動向を踏まえ検討します。

## 「農耕車優先道路標示看板」の

### 新設が実現

**議員** 土地改良事業により整備された道路が、抜け道や散歩道として利用され、農繁期に作業の支障となり、設置要望があります。新設を求めます。

依頼があれば看板の作成、修繕を行います。



▲農耕車優先道路標示看板の新設や修繕を

油原信義議員

## 既存資源を活用した

### 交流人口の促進策！

**議員** 今は、都市の人工的な空間から離れた場所、自然の中で行う活動、キャンプ・バーベキュー等のアウトドアを楽しむアウトドアライフが人気を呼んでいます。賑わいのあるキャンプ場の共通点は、

キャンプサイト、デイキャンプバーベキュー場、遊べる空間が充実している、トイレ・シャワー室が衛生的で綺麗、バンガローは空調完備です。老朽化した森林公園をキャンプ場として、賑わいのある森林公園として再整備してはどうか。農業公園豊作村の芝生広場や運動広場について、農園があり温泉がある、収穫体験で収穫した野菜等でバーベキュー、夜は温泉でゆっくり、このような資源を持つたキャンプ場は人を呼べるのではないのでしょうか。隣接する最終処分場の後はオートキャンプ場として活用してはどうか。

岡部賢士議員

### 移住・定住の促進

**議員** コロナの影響で、働き方が変わり、テレワーク化が進むことで、住まいに対する考え方も大きく変わりつつある。テレワーク優位性を活かした施策についての見解を。

**市長公室長** ターゲットを明確にした情報発信や施策は肝要。本市の存在、取組をPRすることで定住促進に繋がるよう柔軟な施策展開を行いたい。

**議員** Uターン移住や、東京からの転入など、当市の状況に合わせた施策が必要。特に東京圏からの移住促進に特化した施策を今、推し進めるべき。今なら、国や県と連携することで、市の財政を圧迫せず、思い切った施策を打ち出せるはず。

コロナの影響による変化をどう捉え、どのような体制で移住・定住促進を図っていくのか。

**市長** 今が大きなチャンスである。スピード感を持って、庁内横断的に取り組んでいきたい。

### 空家バンクの活用

**議員** 移住促進に特化した施策としての空家バンク活用についての見解を。

**市民生活部長** まずは登録数の伸び悩みを解消し空家バンク制度の活性化を図るため、補助金交付

制度を始める。

**議員** 補助を受ける要件はシンプルに！対象を狭めないことを提案する。今やるのなら、もうひと工夫！移住促進という観点に特化した施策を。



後藤光秀議員

### キッチンカー等移動販売の拡充を

**議員** コロナウイルス感染症が拡大し油断できない状況下において、高齢者や移動困難な方への買い物サービスも含め、食料や買物等もデリバリーやテイクアウトの需要が高まっています。当市では福祉の店の移動販売、民間ではヨーカドーが運用する移動スパー、市内イベント等に outlets しているキッチンカーがあります。稲敷市では、イベント時以外でも市役所敷地内

出店しており、当市でも、市役所や公共施設等で移動販売の出店可能なエリアの拡充を要望します。

**市長** 行列のできる人気キッチンカー等もあり、今後に期待している方も多いと思います。市民の皆さんや職員にとっても、気軽にランチを買う機会を作ることにもなる。今後は、出店の要望があった際には柔軟に対応できるような努力していかなければならぬと考えています。

### スクールゾーンの安全対策について

**議員** 路面表示やスクールゾーンの再表示は、各地域の代表者から要望があれば放置されてしまっています。龍ヶ崎小学校沿いの城下会館前の交差点と、藤ヶ丘カスミ前から八原小学校方面へ向かうカーブ沿いの通学路への安全対策として、登下校時

の車両交通規制等の要望が寄せられています。

**市民生活部長** 車両交通規制については現地確認の後、警察署へ要望します。当市でできる対策として電柱へ注意看板の設置、一時停止を促すストップマーク等を設置して対応して参りたい。

大竹 昇議員

### SDGsによる龍ヶ崎市まちづくり

**議員** SDGs（持続可能な開発目標）は社会、経済、環境の3側面を含む。当市の社会面の合計特殊出生率、経済面の経常収支比率、環境面の気温の5年間の統計推移は如何に。

**市長公室長** 令和元年の合計特殊出生率は1.12。経常収支比率は94.8%。気温は15.0度です。

**議員** 合計特殊出生率で一番低い東京都の1.15より低い。経常収支比率は県下で33番目、平均気温は15.0度で柑橘類が目立ちます。では、都市マスタープランに龍ヶ崎市の4地域の将来像が謳われているが、SDGsアクションプラン2019との関連性についてお示しください。

**都市整備部長** 西部地域、佐貫3号線。東部地域はつくばの里工業団地拡張。市域全体では、コミュニティバス運行計画再編。SDGs関連性は立地適正化計画を作成し多極ネットワーク型コンパクトシティの形成を目指します。

**議員** 市長の考えるSDGsを踏まえて、JR龍ヶ崎駅周辺から龍ヶ崎駅周辺ゾーンのスマートシティ化とグリーンツーリズムを意識したまちづくりをお聞かせください。

**市長** JR龍ヶ崎駅周辺から龍ヶ崎駅周辺ゾーンは、田園風景が目と耳に和ませてくれます。さて、スマートシティ化は、会津若松市や柏市でICT等の技術を活用し交通、健康、観光、エネルギーから農業に至るまで新しいまちづくりが進められています。新都市拠点開発エリアも含め、台の下、県道龍ヶ崎市停車場線シンボルロード化など、このエリアに人を呼び込むための施設開発が龍ヶ崎に問われています。

加藤 勉 議員

## 今後の市政運営の在り方 (新規建設事業等の見直し)について

**議員** この四、五年の間に、道の駅整備事業を始め、予定している複数の事業で延期や休止となつています。市役所内の意思決定に何か問題があるのではと感じてしまいます。特に、多額の予算を伴う新規建設事業の事業化に向けたプロセス、財源調整やスケジューリング調整などについて、組織としての見通しが甘いのではないのでしょうか。

市民生活に影響が出ないよう配慮することが前提となりますが、新規建設事業は、一旦白紙に戻し、ゼロベースにより改めて、真に市民生活に必要となる事業の優先順位付けを行い、課題をきちんと整理した上で政策決定を行う。そして、今度こそ計画どおりに事業化できるよう財源調整とスケジューリング調整を行う。こういった考え方で、現在計画中の新規建

設事業を見直す考えがあるのかについて、ご見解を伺います。

**市長** 新規建設事業などについては、常にその中身を柔軟に見直していくことが求められています。そのようなかで、真に市民のためにとのような建設事業等が求められるのかということは、硬直的にならないよう考えていかなければなりません。ゼロベースでの見直しの話もありましたが、発案した幾つかの事業については、その過程で市民の皆さんから期待の声も含めて様々な声を頂いており、ゼロにすることはあつてはならないと考えています。

新型コロナウイルスの影響もあり、見通しがつかないところもありますが、議会での議論や、市民の皆さんの声も頂きながら一つ一つ着実に事業化に向けて進んでまいります。

山村 尚 議員

## 災害時の共助仕組みづくりについて

**議員** 災害時の要配慮者、特に障がい者の避難行動、避難所生活の課題についてどのようにお考えか。

**福祉部長** 障がいの種類で課題、配慮の方法が異なるため、在宅避難、車中避難も含めた個別の避難計画が重要と認識しています。また、起こり得る課題を地域支援者と共有することが必要と考えています。

**議員** 災害時避難行動要支援者避難支援プランの登録で、要支援者を可能な限り把握し、支援の必要性を地域で理解し、災害時の支援が円滑に行われることが重要かと考えます。障がいの地域共生、支援の共通理解を促す目的で、要配慮者、福祉施設などの積極的な避難訓練参加と、支援者による福祉避難所までの実践的避難移動訓練を推進

してはいかがでしょうか。

**福祉部長** 障がい者との接点がなく支援方法がわからないと自主防災組織からの声もありました。今後も避難支援プランの登録促進、支援についての情報提供、訓練参加の啓発を行っていきたくと考えています。

**議員** 誰一人取り残さないSDGsの理念の元、タオルを玄関先に提示し無事を伝える方法を全地区で徹底、また、訓練実施の広報に、防犯パトロール車を活用してはいかがでしょうか。

**危機管理監** タオル活用の事例と有効性を今後説明していき、また、訓練項目に広報車での情報伝達訓練を加えるよう啓発していきます。

## 歴史的公文書として 庁議会議録の作成を

後藤敦志 議員

**議員** 庁議の位置づけと会議録作成及び保存の現状について伺います。

**市長公室長** 庁議は、行政における基本的方策や重要施策、予算、行政機構改革、議案などを審議し決定する会議体です。会議録は、審議の要旨をまとめる形で作成しています。保存は、平成26年度に制定した公文書の管理に関する指針に従い、同年度のものから永久保存しています。それ以前のもは廃棄処分しています。

**議員** 庁議が重要施策の意思決定を行う会議であるならば、意思決定に至る議論の内容を記載されていないければ、歴史的公文書としての価値がありません。現在の会議録は、審議事項によって記載内容に濃淡があり、意思決定や議論の過程が分かる資料とは言えないものが

あります。市民の知る権利や後世における検証に耐え得る歴史的公文書として、庁議の会議録は、現状より詳細に記録を残していただきたくと考えますが、ご見解をお聞かせください。

**市長公室長** 庁議の会議録は、まずは庁議後の事務作業の円滑な実施に資するための内容を記録することが第一義と考えています。その上で市民の知る権利や歴史的公文書としての役割を配慮した内容で会議録を作成していくことは、当然市として求められる責務であると考えています。市民の皆様にもご理解いただける内容となるよう留意しながら、会議録を今後作成してまいりたいと考えています。

**掲載以外の質問項目**  
◆ 新型コロナウイルス感染症対策について ほか

石嶋照幸議員

### 本市のICT教育について

**議員** 端末を活用した学習、実践についてお聞かせください。

**教育部長** 本市では、タブレットブックを学習用端末として、Google学習用ソフトを利用します。来年度から全職員がGoogle学習用ソフトを扱える様に、各校での校内研修を充実させ、児童・生徒に対しても、計画的な活用を促します。端末やソフトを活用すれば、様々な教育活動が

**議員** 福祉の店の移動販売の、今後の展開予定についてお聞かせください。

**福祉部長** 宅配や移動スーパーの様に多数の商品を取り揃える事は難しいが、取扱い品目の検討や買物弱者が多い地域への販売拠点拡充等、地域に根差した事業に向け社会福祉協議会と調整します。

大野誠一郎議員

### 市長交際費について

**議員** 交際費の支出件数が201件ある中で、会費（飲食費）の支出は180件です。交際費の支出について大半が会費の支出となっていますが、会費制の会合に招待された件数と、会費制ではない会合に招待された件数をお尋ねします。

**市長公室長** 交際費の中で支出したもののについては、指摘のとおり180件です。案内状に会費の金額が記載されているのは180件のうち66件、会費の記載がないのが114件です。

**議員** 会費の支出が多数ある中で、領収書を徴し難いためとの理由で、領収書が多数ないのは、どのような理由か、市長にお尋ねしたい。

**市長** 会費を支出した際に、領収書の有無を確認させていただいた中で、その用意がなかった

椎塚俊裕議員

### アフターコロナへの当市の経営方針

**議員** パンデミックから経済回復のため、自主財源の確保と増やす施策はどのように考えているのか。

**総務部長** 当市は、第2次中期財政計画に基づき財政力強化策で、歳入確保に取り組んでいます。具体的に、つくばの里工業団地拡張による税収確保と雇用創出に伴う定住促進、文化会館などネーミングライツ導入で施設命名権料収入やふるさと納税の充実など、新たな財源確保をします。

社会経済情勢の変化は、財政運営に与える影響が大変大きく、アフターコロナでは自主財源の確保と持続可能な財政運営に取り組みます。

**議員** 財政収支見通しを踏まえた大規模事業の優先順位について、ご見解を伺います。

**市長** 私の政策の一丁目



▲持続可能な財政運営と優先順位を踏まえた事業実現